

令和5年度第3回日進市行政改革推進委員会 議事録

日 時 令和6年1月31日(水)午前9時55分から正午まで

場 所 日進市中央福祉センター2階 多機能室北

出 席 者 齊藤由里恵、金澤敦史、倉知英治、志水佳三、小芦圭吾、三隅晋吾、上田信子、黒田忠晃、堀口 裕 (敬称略)

欠 席 者 なし

事 務 局 小出誠二 (総合政策部長次長兼企画政策課長)、白木 誠 (同課課長補佐)、山浦勝義 (同課企画経営係長)、水谷大介 (同課同係主査)

説明のために出席したもの 大橋大泉 (都市整備部都市計画課長)、川合陸仁 (同課主幹)、石原直樹 (都市整備部下水道課長)、鈴木亜宙 (同課課長補佐)、山田和典 (総務部財務政策課)、中村充孝 (同課課長補佐)

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有 3人

次 第 1 開会  
2 あいさつ  
3 議題 (1) 外部評価 (緑化の推進～緑化推進事業) について  
(2) 下水道使用料の検証について  
4 閉会

配 付 資 料 資料1 外部評価対象事業 (緑化の推進)  
資料2 緑の基本計画 (抜粋)  
資料3 下水道使用料の検証について  
資料4 ケース別使用料体系検討表  
報告資料 公共料金について

| 発 言 者     | 内 容                                                       |
|-----------|-----------------------------------------------------------|
| 事 務 局     | 1 開会                                                      |
|           | 2 会長あいさつ                                                  |
|           | 3 議題<br>(1) 外部評価 (緑化の推進～緑化推進事業) について<br>(2) 下水道使用料の検証について |
|           | 4 閉会                                                      |
| 会 長       | 議題 (1) 外部評価 (緑化の推進～緑化推進事業) について、都市計画課から説明をお願いします。         |
| 都 市 計 画 課 | (資料1に基づき説明)                                               |
| 会 長       | ただいまの説明について、ご質問やご意見はございませんか。                              |
| 委 員       | 市民意識調査の結果で、類似する項目があると説明されましたが、既存のもの                       |

| 発 言 者     | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | <p>と今後のものに対する満足度は違うため、比べる対象が違うと思います。また、緑化推進は市民が求めるものと、市がやろうとするもので違いがあると思います。市の考える緑化推進は、市民や事業者の緑化活動の支援となっていますが、市民は、市に緑化活動をしてもらいたいのではないでしょうか。現在は、市が補助をしているだけと感ずるため、お互いの思いに相違があると感じました。</p>                                                                                                                                                                     |
| 都 市 計 画 課 | <p>確かに、緑化推進事業の見解に相違があると思いますので、その違いを市民の皆さんに理解してもらい、市と市民が思う緑化事業を共通認識としていきます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 委 員       | <p>言葉の定義がわかりにくいかと思います。市民意識調査の項目だけが並んでいると、今までの経験でしか言葉を捉えられないですし、私も緑化推進の意味を取り違えていました。赤池地区の満足度が下がった原因が、開発の段階によるものだとすると、緑化推進事業の意味の捉え方の違いによる結果だと考えます。市民意識調査の調査項目の説明がないと、行き違いが出ます。補助金なども広報に掲載し、周知したと思いがちですが、必要な方へのPRも必要です。緑化推進の年代別満足度は、18歳から24歳の年代は10%程度下がり、他の年代と比較して数値が低いので、意見を聞いていかなければいけないと思います。</p>                                                            |
| 都 市 計 画 課 | <p>18歳から24歳の年代で満足度が下がっているのので、原因分析をして参考にします。緑化推進事業の内容だけではなく、一緒に背景や思いなども伝えることが大切だと感じました。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 委 員       | <p>都市開発と緑化保全是矛盾している部分を克服しながら、まちづくりを進めてきました。行政はコントロールしながら、交通などの利便性のある街をつくりながら、破壊される自然を保護します。開発と保護は相反することから、緑化推進は捉え方が難しいと思います。また、都市部こそ緑化が必要というのも当然だと思いました。また、アンケート中、緑化の定義を解説することも必要だと思いました。新しく開発された赤池地区や竹の山地区で満足度が低いのは、最近開発があったからと考えます。小学校区毎の地域目標があることも、エリアの特徴に応じて、市民が何を望んでいるのかが異なるため、有効だと思いました。緑化推進事業について、予算額や件数以外の指標があれば、充足度を確認しながら各地区に必要な施策ができ、良いと思います。</p> |
| 都 市 計 画 課 | <p>豊かな自然を求める一方で交通の利便性も求められ、バランスを取って開発を進めています。市民意識調査に限らず、いろいろな方と意見交換し、効率的で最適な手法を考える、市民協働、官民連携で推進することが大切だと考えています。</p> <p>緑化推進の事業効果の測り方は難しく、目標や指標の設定に悩みます。毎年、事業を見直ししていますが、足りない部分があればご指摘いただきたいです。</p>                                                                                                                                                            |
| 会 長       | <p>企業から代表として出席されている委員の皆さんで、緑化推進の補助金へのご意見はございますか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 委 員       | <p>天然芝で維持してきた事業所の敷地入口にある庭園を人工芝にしたところ、見栄えも良く、維持コストもかからなくなりました。緑化はその後の維持管理費用</p>                                                                                                                                                                                                                                                                               |

| 発 言 者     | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | がかかります。                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 都 市 計 画 課 | 公園、緑地の維持管理コストなど、同じような悩みを抱えていると感じました。補助金は植栽設置時の補助で、維持管理の補助金はありません。                                                                                                                                                                                         |
| 会 長       | その他に、ご意見はございませんか。                                                                                                                                                                                                                                         |
| 委 員       | 我々も緑化は、維持管理が大変だと感じています。夏は週1回の草刈りが必要なので、人工芝に変えたいという意見も出ています。道路植込みの草刈りも、市に電話すれば対応してくれますが、我々で除草しています。緑化は初期投資以上に労力と費用がかかるため、躊躇してしまいます。                                                                                                                        |
| 会 長       | その他、ご意見はございませんか。                                                                                                                                                                                                                                          |
| 委 員       | 日進市は他県からの流入者が非常に多いですが、過去から未来への比較で満足度を測るため、市民意識調査の回答者属性に、そのような状況を組み込んでいますか。また、今回の分析は課題抽出にとどまっているように思いますが、今後補っていくための調査は予定されていますか。                                                                                                                           |
| 都 市 計 画 課 | 回答者が何年住んでいるかという状況は関係なくまとめています。属性については、調査していませんが、緑の基本計画を作成時には各種調査を実施し、市民の意見を取り入れて策定しています。市民意識調査だけで、緑に関する意識調査を網羅するのは難しいと思いますので、緑の各種計画を作る際に、いただいた意見等を踏まえ必要な調査をしていきたいと思います。                                                                                   |
| 委 員       | 緑化推進の補助金の種類と周知方法を教えてください。                                                                                                                                                                                                                                 |
| 都 市 計 画 課 | 市ホームページで公開している他、都市計画課の窓口で案内チラシを配っています。例年、広報の4月号で緑化推進事業の特集記事を掲載しています。                                                                                                                                                                                      |
| 委 員       | 補助金の種類はいくつですか。                                                                                                                                                                                                                                            |
| 都 市 計 画 課 | 緑化推進事業の対象は、屋上緑化、壁面緑化、駐車場の芝生や、生垣の設置などです。                                                                                                                                                                                                                   |
| 会 長       | 市民意識調査と問題意識がうまくまとめられていると思います。開発や都市化の反対側に緑化があるという意識が強く、アンケートには説明がいます。事業者の緑化推進の取り組みを周知するにはコストをかけずにできることだと思います。緑のカーテンの設置など、市全体として、わかりやすく緑化に取り組んでいることのPRも重要だと思います。今回いただいた意見を参考に、課題解決を、より良い事業となるよう、次回は改善策を議論していきたいです。担当の都市計画課におかれましては、課題解決方法について資料作成をお願いいたします。 |
| 会 長       | 続きまして、議題（2）下水道使用料の検証について説明をお願いします。                                                                                                                                                                                                                        |
| 下 水 道 課   | （資料2に基づき説明）                                                                                                                                                                                                                                               |
| 会 長       | 前回は、下水道にかかる費用を下水道使用料で賄うため、使用料の改定が必要との説明がありました。今回は、どのように利用者に負担を求めていくのかを説明していただきました。現状の基本使用料と従量使用料を見ると、基本使用料として負担していただくウエイトが少ないため、固定費のうち平均稼働率に基づい                                                                                                           |

| 発 言 者   | 内 容                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | た一定割合を基本使用料とする必要性と、従量使用料においては、累進度が高いため、緩和していく必要があるという説明があり、問題点を解決していく使用料改定のケースを提示いただきました。使用料体系のあるべき姿とは乖離しているため、その点を改善しながら使用料を引上げなければならないミッションがあるが、下水道使用料が大幅に変わり、経済活動等に混乱をきたす恐れもあるため、その点も考慮し、事務局案としては、ケース④－Aが適当だとしていますが、その点に対してご意見はありませんか。 |
| 委 員     | 説明は、合理的で納得感のある提案でした。資料中の需要家費は、愛知中部水道企業団に支払う費用でしょうか。また、上水道の検針や使用料徴収は、愛知中部水道企業団が実施しているということでよいでしょうか。                                                                                                                                        |
| 下 水 道 課 | そのとおりです。愛知中部水道企業団に事務を依頼し、負担金として支払いをしています。                                                                                                                                                                                                 |
| 委 員     | 固定費と変動費は、日進市の処理場等の運営に使われているのでしょうか。                                                                                                                                                                                                        |
| 下 水 道 課 | そのとおりです。日進市の場合、処理場等に関しては、委託業者等に直接支払いをしています。                                                                                                                                                                                               |
| 会 長     | 他にありますか。                                                                                                                                                                                                                                  |
| 委 員     | 現状に即した適切な案だと思いますが、収入が少ない家庭や、学生の負担額が増えなくすることが課題だと思いました。節水機器が普及していくという説明がありましたが、節水機器を家庭でもつけるということはあるのでしょうか。                                                                                                                                 |
| 下 水 道 課 | 旧来型のトイレと最新型のトイレでは、一回に流す使用水量が違います。今後、建て替えや住宅リフォーム等による入れ替えや、食洗機等の新しい節水機器の導入による積み重ねで、使用水量は減少していく見込みです。                                                                                                                                       |
| 委 員     | 収入が少ない家庭等は買い替え等が難しい面もあるかと思いますが、補助金等により節水を促す必要があるかと思いますが、使用料金が上がっても、節水をすれば使用料金は下がるので、節水設備の導入補助制度があると、下水道使用料が上がることへの説得力が増すため、節水機器を導入しやすい仕組みも考えないといけないと思います。                                                                                 |
| 下 水 道 課 | 所得状況に配慮していく考え方は大切だと思いますが、使用料設定の基本的考え方として所得の階層と水量は必ずしも関係が見られないので、所得を考慮して、使用料体系を設定していくことは難しい面があります。他の光熱水費も高止まりしている現状もありますが、一般会計で対策をとっておりますので、そういった形でフォローしていくことになるかと思いますが。                                                                   |
| 委 員     | 私の会社も 501 m <sup>3</sup> 以上、下水道を利用していると思います。トイレを新しいものにしたたり、手洗いも自動水栓に変えたりしているので、水道使用量が減っています。事業者が先行して改善を行うため、事業者の使用水量が減少傾向なのは、言われているとおりにかと思いますが。                                                                                           |

| 発 言 者   | 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 長     | <p>事業者や家庭ごとに考えると、今の使用料体系であれば、節水をすれば下水道使用料が節約になります。しかし、下水道経営として考えた場合、装置産業なので、事業費の約8割程度は固定費であり、下水道使用料が減っても、固定費は変わらないので、どこかの段階で料金を改定していかなければなりません。施設の老朽化による更新の際に、排出量減少を反映しダウンサイジングするという長期的な視点も考えられますが、事業者・家庭の節水による下水道使用料減少という短期的な問題があり、下水道経営として相反する難しいところもあります。その中でも適切に運営していくためには、利用者に負担をしていただく事になります。特に、事業者については、過度に累進度を上げると下水道を使わなくなってしまうことがあります。一方で節水により排出量を少なくしていただくことで、ダウンサイジングや施設増設を回避できる面もあるため、難しい問題だと思います。担当課においては、企業の節水も見込んで今後の下水道使用料を検討していかなければならないと思いますが、どのようにお考えですか。</p> |
| 下 水 道 課 | <p>企業の排出量は大型の節水機器が導入され、かなり節水が進むことも考えられます。そこを考慮し、排水量に影響されにくい使用料体系に改めていかないと、ある時点で負担の公平化を図る使用料体系に急激に移行しなければならなくなるので、少しずつその方向性に向け、適正化を図る必要があると考えています。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 会 長     | <p>今の使用料体系を適正な形に変えるということと、一気に変更をすると影響があるため、一般家庭で、特に少量の下水道使用に配慮している、事務局から提案していただいたケース④-Aの案で、今後、検討していくことでよろしいでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 委 員     | <p>(異議なし)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 会 長     | <p>それでは、ケース④-Aを基本に、説明資料の作成をお願いします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 下 水 道 課 | <p>次回の会議に関しては、新年度になってから開催し、ケース④-Aを基に、どのように経営改善が図られるかを説明させていただきます。また、最終的には、委員会から答申書を提出していただく予定です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 会 長     | <p>承知しました。答申案は事前に確認させていただき、次回の会議までに、各委員からの意見をいただいて修正し、整ったものを答申する流れでよいでしょうか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 事 務 局   | <p>その流れで大丈夫です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 会 長     | <p>委員の皆さまには、ケース④-Aをシュミレーションしてまとめたものを、資料としてお渡しします。下水道は、上水道のように、蛇口をひねって水が出るというような、分かりやすい設備ではないので、市民の方々に理解していただくのが難しい所もあります。そのため、下水道経営の観点とのバランス等も踏まえながら、上手にまとめていただきたいと思います。よろしくをお願いします。次回は4回目の審議となります。引き続き、適切な資料の提供をよろしくをお願いします。以上で本日の議題を終了します。</p> <p>事務局から報告事項がありますのでよろしくをお願いします。</p>                                                                                                                                                                                              |

| 発 言 者     | 内 容                                                                                             |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事 務 局     | 以前の本委員会において、議題としました公共料金について、財務政策課からご報告をさせていただきます。                                               |
| 財 務 政 策 課 | (報告資料に基づき説明)                                                                                    |
| 会 長       | ありがとうございました。ただいまの報告に関して、質問やご確認したいことはありませんか。                                                     |
| 委 員       | (意見なし)                                                                                          |
| 会 長       | ありがとうございます。特になければ、事務局へお返しします。                                                                   |
| 事 務 局     | 皆さま、長時間のご審議ありがとうございました。本年度の委員会は今回が最後です。来年度の開催につきましては、後日、日程調整させていただきますのでよろしく申し上げます。本日はどうもお疲れ様でした |
|           | 4 閉会                                                                                            |